



ふくほうのシンボルマーク

グリーン三角は地域の発展を示し、白とグリーンで円を描いている部分は、皆様と当行のふれあいを表しております。この三角と円のハーモニーによって全体にイメージされる「F」のデザインは、地域と皆様の繁栄に貢献し、未来永久に幸せをもたらしていきたいという当行の決意を示しております。

The Fukuho Bank, Ltd.

発行／平成23年6月
編集／株式会社 福邦銀行 企画部
〒910-0023 福井市順化1-6-9
TEL／0776-21-2500(代表)
<http://www.fukuho.co.jp>

第103期 営業のご報告 [ミニ・ディスクロージャー誌]

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで





平成23年 6月

取締役会長 三田村俊文

取締役頭取 東條 敬

日頃は福邦銀行をお引き立ていただき誠にありがとうございます。株主の皆様、並びに取引先の皆様をはじめ地域のお客様には、多大なるご支援とご理解をいただき心から厚くお礼申し上げます。また、東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い被災地の復興をお祈りいたします。

このたび当行の経営方針や業績の概要などをまとめました第103期営業のご報告〔ミニ・ディスクロージャー誌〕を作成いたしましたので、ご高覧賜れば幸いです。

平成23年3月期決算における国内経済は、新興国経済の高成長を背景とした輸出・生産の増加や、耐久消費財の景気対策効果等により持ち直しの動きが見られ、企業収益も回復基調にありました。しかしながら、3月11日に発生した東日本大震災以降では、生産面を中心に下押し圧力が強い状況となりました。

また、福井県内の経済におきましては、全般的に厳しい状況の中、雇用や生産は持ち直しの動きが見られるものの、個人消費は全国的な動きと同様に昨年秋口以降減少しており経済環境は不透明感が混在した状況となっております。

このような環境下、当行グループは経営強化計画に基づく諸施策を確実に実践するため役職員一体となって積極的に業務に取り組んでまいりました。引き続き「地域社会への貢献」を経営理念に、中小企業規模事業者および個人のお客様に対する円滑な資金供給や各種サービスの提供を通じて地域金融機関としての使命を果たしてまいります。今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール (平成23年3月末現在/単体ベース)

名称	株式会社福邦銀行 THE FUKUHO BANK,LTD.
本店所在地	福井市順化1丁目6番9号
創立	昭和18年11月5日
資本金	73億円
総資産	4,318億円
預金	4,086億円
貸出金	3,129億円
自己資本比率	8.50% (国内基準)
店舗数	39カ店
従業員数	567名

もくじ

ごあいさつ、プロフィール	1
経営強化計画、経営理念	2
業績ハイライト	3
金融の円滑化に向けた取り組み	5
金融サービスの向上	7
地域の皆様とともに	9
経営強化計画について	10
第103期連結財務諸表	11
第103期財務諸表 (単体)	12
株式のご案内、株主優待について	13
店舗一覧、お問い合わせ先一覧	14

お客様感動への挑戦

目指す銀行像 お客様から相談され、個性が光る存在感のある銀行

基本方針 独自性とスピードによる経営強化

運動指針 {C.S.} 運動の推進=お客様との接点重視とフォローアップ

{C.S.} 運動とは
 お客様と多くの接点を持ち、相談される存在となり、しかも速やかに問題を解決して満足していただく運動
 Customer Contact Consultation Speed Solution Satisfaction
 {C.S.} は「C」と「S」の集まり
 CS [お客様満足] (Customer's Satisfaction)

重点課題

- 「収益力の強化」**
 - 全員営業による中小企業・個人取引の拡充
 - お客様接点の増強と商品・サービス提供力の強化
 - 業務の抜本的な見直しによる業務の効率化
 - 経営効率化と収益管理の強化
- 「組織力の発揮」**
 - 全体最適を目指した仕組みづくり
 - 組織・制度の改革と人材育成
 - スピードを持って行動するシステムの構築
- 「ガバナンス態勢の強化」**
 - コンプライアンス態勢の強化
 - リスク管理の高度化
 - 内部統制態勢の堅確化
- 「財務基盤の安定化」**
 - ◆ 自己資本の充実による財務基盤の強化
 - ◆ トップライン収益とボトム収益の強化
 - ◆ 与信コストの安定化

経営理念

地域社会への貢献
 私どもは幸せな人間生活と豊かな社会づくりに貢献することを銀行活動の使命とします。

健全なる経営
 銀行の発展は、地域社会への貢献の証しであり、私どもの存在を可能とするため、より健全な経営に心がけます。

活力ある職場
 私どもが人間として尊厳を勝ちとるための練成の場として、明るく活力ある職場づくりに努めます。

福邦の心

至誠の心
 信頼の絆と責任を自覚し、お客様にまごころを尽くします。

和の心
 お互いの立場を理解し、喜びを分かち合う心を育てます。

進取の心
 変化に対応する熱意と挑戦する心を養います。

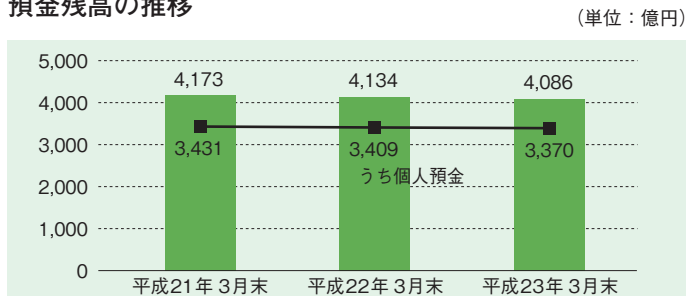
共存共栄の心
 お客様第一に徹し、共存共栄の心で奉仕します。

業績ハイライト

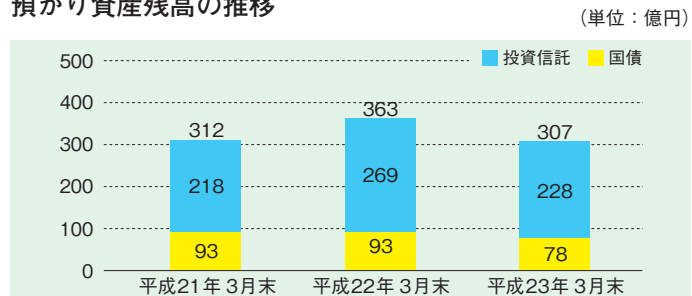
預金等の状況（単体）

預金残高は、流動性預金は増加しましたが、定期性預金が減少したことから、前期末比47億円減少の4,086億円となりました。預かり資産残高は国債および投資信託ともに減少し、前期末比55億円減少の307億円となりました。

預金残高の推移



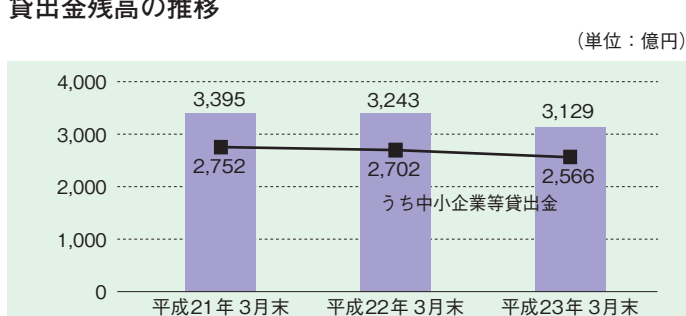
預かり資産残高の推移



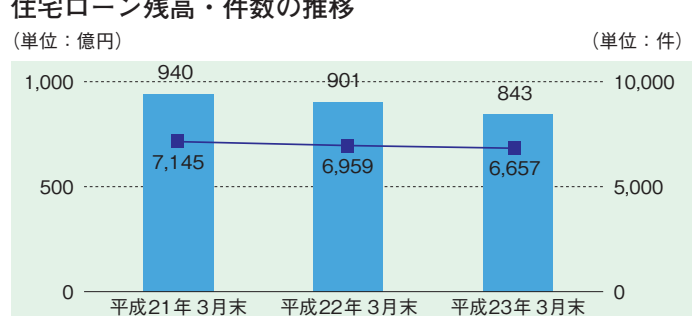
貸出金の状況（単体）

貸出金残高は、事業性貸出および消費者ローンともに減少したことから、前期末比113億円減少の3,129億円となりました。

貸出金残高の推移



住宅ローン残高・件数の推移



(注) 中小企業等とは、資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円）以下の会社または常用する従業員が300人（ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人）以下の企業等です。

損益の状況（単体）

経常収益は、貸出金利息収入および有価証券運用収益が減少した結果、前期比6億8百万円減少の103億28百万円となりました。

銀行の本業部分の収支を示すコア業務純益は、経費の削減等により前期比2億2百万円増加し15億49百万円となりました。

経常利益は、コア業務純益の増加に加え、前期における予防的貸倒引当金の積増しが奏功し、9億25百万円と黒字化いたしました。

当期純利益は、固定資産の減損を計上したものの、経常利益の増加等により7億27百万円と黒字化いたしました。

用語解説（コア業務純益）

銀行本来の業務であげた利益から、業務を行う上でかかった経費と一時的な変動要因（債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額）を差し引いたものです。

コア業務純益

	(単位：百万円)
平成21年3月末	1,414
平成22年3月末	1,347
平成23年3月末	1,549

経常利益

	(単位：百万円)
平成21年3月末	△ 918
平成22年3月末	△ 2,410
平成23年3月末	925

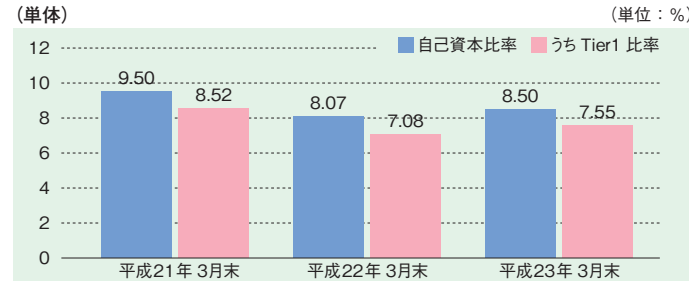
当期純利益

	(単位：百万円)
平成21年3月末	△ 2,002
平成22年3月末	△ 3,328
平成23年3月末	727

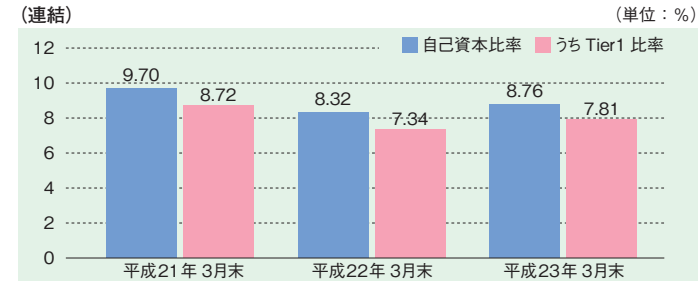
自己資本比率の状況（国内基準）

自己資本比率は銀行の安全性・健全性を示す重要な指標のひとつです。当行のように海外に支店を持たない銀行は国内基準の4%以上が義務付けられております。平成23年3月末のリスク・アセット（万一の場合、貸倒れの危険性のある資産）に対する自己資本の額は銀行単体169億円、連結175億円、自己資本比率は単体8.50%、連結8.76%、Tier1比率では単体7.55%、連結7.81%となっております。

(単体)



(連結)



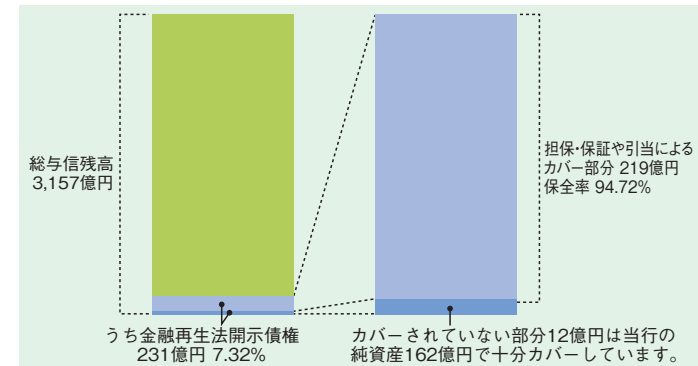
資産査定状況

当行は、貸出金などの資産の価値に対して厳しく査定を行い適正な償却・引当を実施しております。また、積極的にお取引先に対する経営支援を強化しております。平成23年3月末の金融再生法開示債権は前期比23億円増加の231億円となりました。

なお、金融再生法開示債権231億円には、担保保証のほか、将来的に損失を被ることに備え、すでに費用として引当てしている部分も含まれております。開示債権に対する保全額は219億円、保全率は94.72%あり、将来的な損失にも十分に備えております。

金融再生法開示債権額

	(単位：百万円)		
	平成21年3月末	平成22年3月末	平成23年3月末
金融再生法開示債権合計	19,157	20,725	23,123
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,010	6,180	5,198
危険債権	14,624	14,352	17,300
要管理債権	522	191	624
保全額	17,663	19,863	21,903
貸倒引当金	6,533	5,570	4,802
担保保証等	11,129	14,293	17,100
総与信残高（未残）	343,745	327,799	315,753



金融の円滑化に向けた取り組み

当行は創業来、お客様との間で長く続いた親密な関係を強化・維持し、ニーズに応じた金融サービスを提供する地域密着型金融の推進を基本としております。特に、中小企業者等のお客様に対する信用供与を円滑に行うため、お客様の存続・発展に資する金融仲介機能を十分に発揮できるよう努めております。

また、「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の施行を踏まえ、お借入れ条件の変更等に関する取り組みにおける基本方針を制定いたしました。この方針に基づき、地域金融機関としての健全性を維持向上し、経営支援を中心とした相談機能を充実させること等の金融円滑化に向けた取り組みを、従来に増して適切かつ積極的実施してまいります。

【主な取り組み】

- 事業者ローン「勇士3000」や「フロンティア500」、「ふくほうプライムサポート」、ABL（資産担保貸出、動産・流動資産を活用した融資手法）、機械設備を担保とした「機械担保ローン」などの取り扱いによる担保・保証に過度に依存しない融資推進
- 行員の目利き能力（融資審査能力）向上のため中小企業診断士やFP技能士など人材育成
- 法人営業グループによる情報収集や資金需要に対するご相談やご提案
- 法人営業役席のきめ細やかな金融サービス提供によるサポート
- 中小企業融資推進室等による本部サポート体制の整備
- 財団法人ふくい産業支援センターと連携した移動経営相談会の実施
- 地元大学との連携を強化し、大学が保有する技術情報と地元企業のマッチングに関する支援
- 企業経営支援室による経営改善活動のサポート
- ビジネス商談会の開催によるビジネスチャンス創出
- 「福邦銀行ビジネスマッチング情報交換制度」や「第二地銀加盟行ビジネス情報交換制度（愛称：B-net）」によるビジネスマッチングのサポート
- 中小企業経営診断システム（MSS）を利用したふくほう財務診断サービスの実施
- 金融円滑化ご相談窓口の設置による中小企業の皆様や住宅ローンご利用の皆様のご事情に応じたきめ細やかなご相談

6000先訪問運動

ご融資先との関係強化と新たなご融資先への訪問運動として全店で6000先訪問運動に取り組んでおります。



移動経営相談会

ふくほう財務診断サービスのご案内

中小企業のお客様の企業経営支援の一環として「中小企業経営診断システム（MSS）」を利用した簡易な診断サービスを開始いたしました。ご利用料は無料です。くわしいサービスにつきましては最寄りの当行本支店または営業担当者までお気軽にお申し付けください。

※なお、財務診断の結果は、融資の審査の判定に用いるものではなく、あくまでお客様の財務状況の把握、経営改善に活用していただくことを目的としたものです。また、数値は絶対的なものではなく、ひとつの目安としてください。

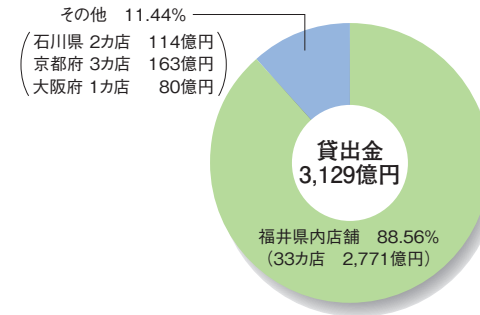
住宅ローンご返済条件変更手数料の無料化のご案内

ご勤務先の事情等による離職等やご収入の減少などにより、住宅ローンのご返済計画の見直しをされるお客様について、「中小企業金融円滑化法」の趣旨を反映し、平成21年12月4日から平成24年3月31日までの間、当行の住宅ローンに係るご返済条件の変更手数料(15,750円)を無料化いたします。ただし、新規の条件変更時のみとします。

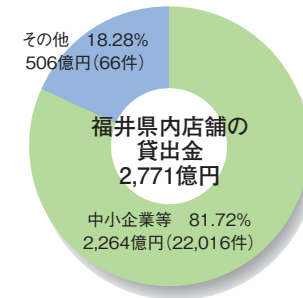
※手数料無料化の詳細につきましては当行の営業店窓口でお問い合わせください。

地域の皆様へのご融資

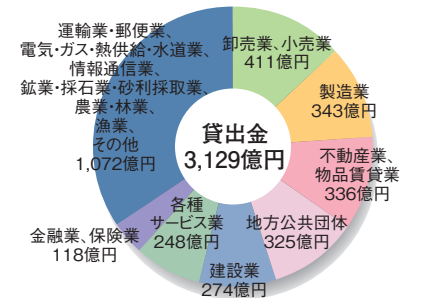
店舗所在地別の貸出金状況（単体） （平成23年3月末現在）



福井県内店舗の貸出金に占める 中小企業等貸出金の状況（単体） （平成23年3月末現在）



業種別貸出金の状況（単体） （平成23年3月末現在）



地域密着型金融の推進

大項目毎の取り組み状況

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の強化
 - 創業、新事業支援
 - ふくい産業支援センターおよび地元大学との連携による強化
 - 経営改善支援
 - 企業経営支援室による取引先の経営改善支援
 - 事業再生支援の強化
 - 中小企業再生支援協議会を活用した取引先の事業再生支援
 - 事業継承支援
 - 外部機関との提携強化により、事業承継・M&A等の取引先ニーズに即したコンサルティング営業の取り組み推進
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
 - 不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資への取り組み
 - 財務内容を重視した融資への取り組み
 - 不動産以外の資産を活用した融資への取り組み
 - 「目利き機能」の発揮に向けた取り組み
 - 研修による企業に対する「目利き力」の育成
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献
 - 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた同時的・一体的な「面的再生」への取り組み
 - ビジネス商談会の実施、当行ネットワークの活用によるビジネスマッチング業務（企業支援）の推進
 - 地域活性化につながる多様なサービスの提供
 - ソリューション営業の強化と地域における金融知識の普及
 - 地域貢献への取り組み推進
 - 「子育て応援バンク」の取り組み推進



第4回ふくほうビジネス商談会「ふくいやさしい食フェア2010」。平成22年6月9日 福井県産業会館で開催。

出展者数	来場者数
124先	2,650名 (事業者：323社537名、一般：2,113名)

金融サービスの向上

■春江支店の移転新築オープン

地域に密着した金融機関として更なるお客様満足への向上と、相談・コンサルティング機能強化のため平成22年10月25日に春江支店が移転新築オープンいたしました。個性的で存在感のある外観と、広い駐車場を完備しバリアフリーにも対応しております。店内は各種ご相談をゆっくりお受けするローカウンター、ブース型のコンサルティングコーナーを設置したほか、セミナー会場として利用できる会議室を備えております。また、お客様がお待ちの間もくつろいでいただけるよう大型ディスプレイによるテレビ放映や無料ドリンクコーナーを備えております。



新しくなった春江支店



明るい空間のロビー



無料ドリンクコーナー

■ゆめプラザ（四ッ居）

ゆっくりおくつろぎいただけるご相談コーナーや小さなお子様用スペースを設置し、お客様のところに専門スタッフが出向いてご相談を承る活動にも力を入れております。また、「金融円滑化ご相談窓口」を設置し中小企業の皆様や住宅ローンご利用のお客様に対し、ご事情に応じたご相談を承っております。

取扱業務：住宅ローンや教育ローンなどローン全般、投資信託、医療保険、学資保険、個人年金保険、年金お受け取りに関するご相談・アドバイス業務など

住所：福井市北四ッ居3-15-66

フリーダイヤル：0120-683-294

営業時間：平日 9：00～19：00（毎週水曜日定休）
土・日・祝日 10：00～17：00
年末年始（12月31日～1月3日）を除きます。



ゆめプラザ（四ッ居）

■お客様感謝デーの開催

日ごろのご愛顧に感謝を込めて全店でお客様感謝デーを開催し、懸賞品付金利上乘せ定期預金「夢きらら」を取扱いいたしました。

■ライフローン「医療プラン」

お客様が資金面での不安を解消し、治療等にかかる費用のご負担軽減にお役立ていただくため、ご親族様が受けられる手術・入院・検査等の費用を対象とするライフローン「医療プラン」を取り扱っております。福井県立病院『陽子線がん治療センター』での陽子線がん治療や、満18歳未満のお子様の治療の場合には、ご融資金利の割引制度もございます。この商品は『福井県陽子線治療資金利子補給制度』の対象です。

■ATMの利便性向上

当行のキャッシュカードは全国のイオン・マックスバリュなどに設置されているイオン銀行のATMを利用手数料無料でご利用になれます（出金のみ）。

コンビニATMではセブン銀行とATM利用提携し、全国のセブン-イレブンなどに設置されているセブン銀行のATMを利用手数料無料でご利用になれます（入出金）。そのほかローソン、ファミリーマート、サークルK、サンクスなどに設置されている各ATMもご利用になれます（利用手数料がかかります）。

■環境への配慮

お客様の環境配慮への対応を金融面から応援する取り組みを行っております。行内においても温室効果ガスの排出削減を目指す国民運動「チャレンジ25」に参加し、クールビズなどに取り組んでおります。

<環境に配慮した商品・サービス等>

- LPガス住宅ローン
- オール電化住宅ローン
- マイカーローンの金利割引サービスにエコカー購入を対象条件に設定
- 事業性融資「ふくほうプライムサポート」の金利割引サービスにISO14001またはエコアクション21認証取得を対象条件に設定
- エコクロス通帳の導入、ほか

「お客様の声」にお応えして

金融サービス向上を目指し毎年9月、「お客様の声」アンケートを実施しております。お寄せいただいたご意見やご要望のもとに平成22年度は、主に次のような取り組みを行いました。

- 音声ガイダンス機能が付いたATMを増設いたしました（平成23年5月31日現在21台）。
- ATMでキャッシュカードによる出金と通帳記帳を同時にできるようにいたしました。
- ATMで総合口座の定期預金のお預け入れをできるようにいたしました。
- 共通印鑑のお届けにより、口座開設店以外の店舗で普通預金・貯蓄預金・定期預金の解約出金をできるようにいたしました（個人の口座に限ります）。
- ふくほう法人WEBバンキングサービスのご利用時間を延長いたしました（振込振替サービスの予約扱い終了時間17時を21時までに変更等）。
- ふくほう法人WEBバンキングサービスの接続回線を増設いたしました。
- 快適な利用環境により、親しまれる店舗づくりを目指して店舗・ATMコーナーの改装、駐車場の拡大、スロープ設置等によるバリアフリーへの対応に取り組んでおります。

※商品・サービスの詳細につきましては最寄りの当行本支店または営業担当者までお気軽にお問い合わせください。

地域の皆様とともに

「福井県応援ファンド」の取扱い

福井県に関連する企業の株式に投資し地元経済の発展を応援する投資信託商品「福井県応援ファンド」を取り扱っております。今年で運用開始5周年を迎え、信託報酬の一部を日本赤十字社福井県支部の活動資金として寄附を行っております。平成23年3月には寄附金123万円を贈呈し、累計では978万円となりました。



子育て応援バンクの取り組み

少子化問題に対応するためCSR活動の一環として「子育て応援バンク」を宣言し、地域のお客様の子育てを金融面から応援する取り組みを行っております。

子ども手当をお受け取りのお客様を対象とした「子ども手当受取口座のATM振込・利用手数料キャッシュバックサービス」をはじめ住宅ローン子育て金利割引制度、子育て応援定期、子育て応援に積極的な企業のお客様向け事業性融資商品の金利割引の取扱いのほか、金融経済教育活動や行員手づくり創作童話の制作活動に取り組んでおります。

また、福井県が推進するママ・ファースト運動「すまいるFカード事業」に協賛しております。



子育て応援バンクのマーク



行員手づくり創作童話〈ゆめたろうとドーナツやさん〉より©

福邦カップ争奪ゲートボール大会の開催

地域のお客様の交流や健康づくりにお役立ていただくため平成22年7月から11月にかけて「第3回福邦カップ争奪ゲートボール大会」を開催いたしました。平成23年6月から第4回の予選大会が始まりました。



平成22年度は約1,000名の選手の皆様のご参加をいただきました。

コミュニケーションボードの設置

耳の不自由な方や外国人の方などのお客様に、ご希望の取引や手続きをスムーズに行っていただけるよう全国銀行協会作成の「コミュニケーションボード」を店頭を設置しております。記号や文字を指し示してご利用になれます。



コミュニケーションボードの一部

女性プロジェクトチームTiaraの取り組み

地域のお客様の満足度向上とワーク・ライフバランスなどを目的とした女性プロジェクトチームTiara（ティアラ）が活動しております。

経営強化計画について

目標とする経営指標

平成21年3月に策定した経営強化計画に基づいた様々な施策に積極的に取り組んでおります。その中での経営改善の目標値として、収益性においてはコア業務純益ROAの向上、業務の効率性においては業務粗利益経費率の改善を掲げ、活動を進めてまいりました。

(1) 収益性を示す指標 (単位：%)

	平成23年3月期計画
コア業務純益ROA	0.40

※コア業務純益ROA = コア業務純益 / 総資産平残

(2) 業務の効率性を示す指標 (単位：%)

	平成23年3月期計画
業務粗利益経費率	64.80

※業務粗利益経費率 = (経費 - 機械化関連費用) / 業務粗利益

経営諮問委員会の設置

当行では、取締役会の諮問機関として経営諮問委員会を設置しております。外部有識者の方から、地域への信用供与の円滑化や地域経済活性化に向けた経営戦略など、客観的な立場で評価および助言・提言をいただきます。助言等は経営に反映することで経営の客観性と透明性を高めてまいります。第4回の同委員会は平成23年1月に開催いたしました。経営強化計画の履行状況報告書（平成22年12月）についての説明のほか、次期経営強化計画の基本戦略について各委員の皆様からご意見等をいただきました。概要は当行ホームページでご覧になれます。

〈構成委員〉

委員名	公職・役職等
児嶋 眞平	京都大学名誉教授、福井大学名誉教授、前福井大学学長
増田 仁視	前福井経済同友会代表幹事、増田公認会計士事務所所長
山本 雅俊	前福井県副知事、元財団法人ふくい産業支援センター理事長

(五十音順、敬称略)

第103期連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成23年3月31日現在) (単位:百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	13,442
コールローン及び買入手形	510
有価証券	100,727
貸出金	313,491
外国為替	257
その他資産	1,757
有形固定資産	5,019
建物	1,160
土地	3,409
リース資産	71
その他の有形固定資産	378
無形固定資産	571
ソフトウェア	237
のれん	0
リース資産	294
その他の無形固定資産	39
繰延税金資産	1,237
支払承諾見返	2,045
貸倒引当金	△ 6,941
資産の部合計	432,120
(負債の部)	
預その他負債金	407,642
賞与引当金	3,193
退職給付引当金	263
役員退職慰労引当金	1,017
睡眠預金払戻損失引当金	216
利息返還損失引当金	42
偶発損失引当金	2
再評価に係る繰延税金負債	210
支払承諾	681
支払	2,045
負債の部合計	415,316
(純資産の部)	
資本金	7,300
資本剰余金	6,256
利益剰余金	2,396
自己株式	△ 204
株主資本合計	15,748
その他有価証券評価差額金	297
土地再評価差額金	758
評価・換算差額等合計	1,055
純資産の部合計	16,804
負債及び純資産の部合計	432,120

連結損益計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
経常収益	10,538
資金運用収益	8,247
貸出金利息	7,085
有価証券利息配当金	1,142
コールローン利息及び買入手形利息	14
預け金利息	3
その他の受入利息	2
役員取引等収益	1,342
その他業務収益	840
その他経常収益	107
経常費用	9,619
資金調達費用	725
預金利息	712
コールマネー利息及び売渡手形利息	0
その他の支払利息	13
役員取引等費用	898
その他業務費用	587
営業経費	6,395
その他経常費用	1,011
貸倒引当金繰入額	694
株式等売却損	47
株式等償却	27
その他の経常費用	242
経常利益	919
特別利益	2
償却債権取立益	0
その他の特別利益	1
特別損失	353
固定資産処分損	11
減損損失	301
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37
その他の特別損失	2
税金等調整前当期純利益	568
法人税、住民税及び事業税	25
法人税等調整額	△ 171
法人税等合計	△ 145
少数株主損益調整前当期純利益	714
少数株主損失	0
当期純利益	714

第103期財務諸表 (単体)

貸借対照表 (平成23年3月31日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	13,442	預金	408,654
現金	5,115	当座預金	9,891
預け金	8,326	普通預金	106,952
コールローン	510	貯蓄預金	1,562
有価証券	101,116	通知預金	524
国債	44,551	定期預金	277,813
地方債	8,410	定期積金	9,265
社債	34,919	その他の預金	2,645
株式	1,977	その他負債	2,541
その他の証券	11,257	未払法人税等	25
貸出金	312,910	未払費用	1,324
割引手形	9,135	前受収益	294
手形貸付	26,438	従業員預り金	252
証書貸付	247,358	給付補てん備金	14
当座貸越	29,977	リース債務	402
外国為替	257	資産除去債務	53
外国他店預け	257	その他の負債	173
その他資産	1,443	賞与引当金	250
前払費用	6	退職給付引当金	1,014
未収収益	386	役員退職慰労引当金	216
金融派生商品	5	睡眠預金払戻損失引当金	42
その他の資産	1,044	偶発損失引当金	210
有形固定資産	5,018	再評価に係る繰延税金負債	681
建物	1,160	支払承諾	2,045
土地	3,409	負債の部合計	415,657
リース資産	70	(純資産の部)	
その他の有形固定資産	377	資本金	7,300
無形固定資産	570	資本剰余金	6,256
ソフトウェア	237	資本準備金	6,256
リース資産	294	利益剰余金	1,830
その他の無形固定資産	38	利益準備金	38
繰延税金資産	1,231	その他利益剰余金	1,791
支払承諾見返	2,045	繰越利益剰余金	1,791
貸倒引当金	△ 6,650	自己株式	△ 204
資産の部合計	431,895	株主資本合計	15,182
		その他有価証券評価差額金	297
		土地再評価差額金	758
		評価・換算差額等合計	1,055
		純資産の部合計	16,238
		負債及び純資産の部合計	431,895

損益計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
経常収益	10,328
資金運用収益	8,214
貸出金利息	7,051
有価証券利息配当金	1,142
コールローン利息	14
預け金利息	3
その他の受入利息	2
役員取引等収益	1,166
受入為替手数料	352
その他の役員収益	813
その他業務収益	840
外国為替売買益	12
商品有価証券売買益	0
国債等債券売却益	827
金融派生商品収益	0
その他経常収益	107
株式等売却益	37
その他の経常収益	69
経常費用	9,402
資金調達費用	724
預金利息	712
コールマネー利息	0
その他の支払利息	12
役員取引等費用	862
支払為替手数料	67
その他の役員費用	794
その他業務費用	587
国債等債券売却損	587
営業経費	6,306
その他経常費用	922
貸倒引当金繰入額	622
貸出金償却損	17
株式等売却損	47
株式等償却損	27
金銭の信託運用損	22
その他の経常費用	185
経常利益	925
特別利益	0
償却債権取立益	0
特別損失	351
固定資産処分損	11
減損損失	301
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37
その他の特別損失	0
税引前当期純利益	575
法人税、住民税及び事業税	17
法人税等調整額	△ 169
法人税等合計	△ 152
当期純利益	727

株式のご案内

- 事業年度**
毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 株主総会**
定時株主総会は毎年4月1日から3ヵ月以内に招集し、臨時株主総会は、必要があるときにこれを招集いたします。
- 定時株主総会の基準日**
定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。
- 剰余金の配当の基準日**
期末配当の基準日は毎年3月31日といたします。
中間配当を行う場合には、毎年9月30日を基準日といたします。
- 単元株式数**
単元株式数は、1,000株といたします。
- 株式事務取扱場所**
 - 株主名簿管理人
東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
 - 同事務取扱場所
大阪市中央区北浜二丁目2番21号
中央三井信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部
電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）
 - 郵便物送付先
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部（証券代行事務センター）
 - 同取次所
中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店
株式会社福邦銀行 本店および各支店
- 公告方法**
福井市において発行する福井新聞に掲載いたします。

株主優待について

平成23年3月31日現在の1単元（1,000株）以上保有の株主様に次の株主優待を実施しております。

- ①金利上乘せ定期預金
ご利用期間 平成23年7月1日～平成24年6月29日
- ②粗品進呈
発送時期 平成23年6月

店舗一覧（39カ店）

（平成23年5月末現在）

福井県（33カ店）

本松	支店	(0776)21-2500
幾久	支店	(0776)23-0880
日の出	支店	(0776)21-2830
新田	支店	(0776)26-2400
若塚	支店	(0776)23-4011
堀杉	支店	(0776)35-0700
成宮	支店	(0776)21-5700
高和	支店	(0776)21-6360
森木	支店	(0776)53-3500
社田	支店	(0776)56-3170
花堂	支店	(0776)34-2190
開発	支店	(0776)34-2870
春日	支店	(0776)53-6600
江国	支店	(0776)36-8480
津江	支店	(0776)51-0089
金津	支店	(0776)81-3141
丸岡	支店	(0776)73-0222
松岡	支店	(0776)66-2010
勝山	支店	(0776)61-0063
大野	支店	(0779)88-1576
鯖江	支店	(0779)66-3650
神明	支店	(0778)51-2870
今立	支店	(0778)52-6500
	支店	(0778)42-2030

武村	支店	(0778)24-3210
生国	支店	(0778)23-9290
越前	支店	(0778)23-9290
敦賀	支店	(0778)37-1022
美浜	支店	(0770)22-5522
三上	支店	(0770)32-1137
高方	支店	(0770)45-0078
小中	支店	(0770)62-0031
高浜	支店	(0770)52-2910
	支店	(0770)72-1311

石川県（2カ店）

小松	支店	(0761)22-7373
金沢	支店	(076)262-0266

京都府（3カ店）

舞鶴	支店	(0773)75-1290
東舞鶴	支店	(0773)62-4603
京都	支店	(075)231-6171

大阪府（1カ店）

大阪	支店	(06)6352-5051
----	----	---------------

お問い合わせ先一覧

お問い合わせ内容	連絡先	受付時間	
WEBバンキング	インターネットバンキングセンター 0120-898-294 (0776)21-2828	平日	9:00～21:00
住宅ローンなどローン全般、投資信託、医療保険、学資保険、個人年金保険、年金お受取りのご相談	ゆめプラザ四ッ居 0120-683-294	平日(水曜定休) 土・日・祝日	9:00～19:00 10:00～17:00
金融円滑化に関するご相談	融資部 0120-067-294	平日	9:00～17:00
ローン申込み、お問い合わせ	コールセンター 0120-687-294	平日	9:00～21:00
キャッシュカード・通帳の紛失	お取引店	平日	8:45～17:00
	自動機監視センター（上記以外） 0120-013-294	365日	24時間
偽造・盗難キャッシュカード被害に関するご相談	お取引店 顧客サービスセンター (0776)25-5127	平日	9:00～17:00
ご意見・ご要望			